



昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告 〔集中治療科〕

指標名

気管挿管患者の人工呼吸日数

目標・ゴール

日数の短縮

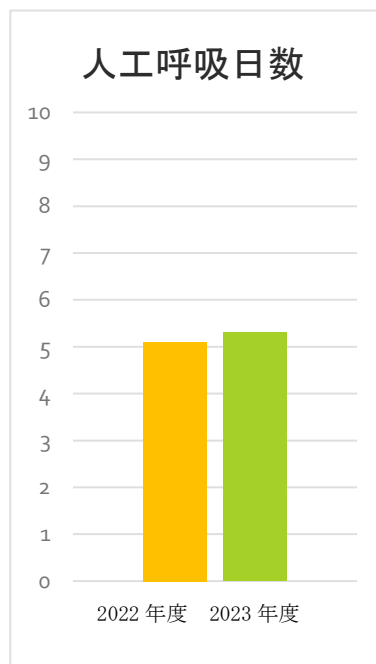
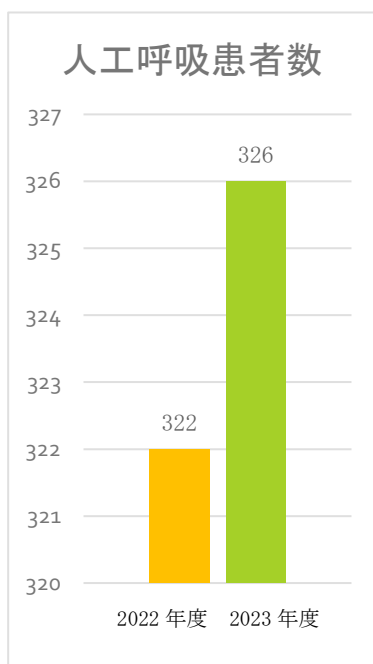
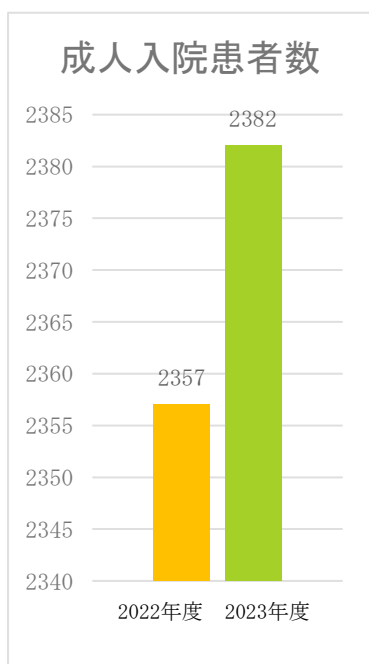
目標・ゴール達成による効果

人工呼吸器関連肺炎発症の低減

目標・ゴールに対する成果の状況

中央病棟5階ならびに6階ICUに入室した成人患者の患者数、重症度、人工呼吸日数は下記の通りであった。2023年度の人工呼吸器関連肺炎発症数はPossibleVAP1件のみであった。

年度	成人入室患者数	人工呼吸患者数	平均 APACHE IVa スコア	人工呼吸日数
2022	2357	322	68.3	5.1
2023	2382	326	74.3	5.3



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

☐S : 大幅に目標を上回った

☐A⁺ : 目標を多少上回って達成

☒A : 目標を達成

☐B⁺ : 目標を少し下回った

☐B : 目標を下回った

☐C : 目標を大幅に下回った

☐- : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

ICU で人工呼吸を行った成人患者の重症度（APACHE IVa スコア）平均値が 68.3 ポイントから 74.3 ポイントと増加する中で人工呼吸期間はほぼ横ばいであった。人工呼吸器関連肺炎は possible VAP が 1 件のみであり、目標を達成したと判定した。

高齢化により患者重症度は増加する傾向にあり、引き続き人工呼吸期間の短縮と人工呼吸器関連合併症の発症予防に努めていく。そのために浅い鎮静や早期離床の実施をすすめる。